

## 1) 2023 年度活動報告

### はじめに

2023 年度は大田区の事業計画の計画年度であり、連絡会としてはそれぞれの事業計画のパブリックコメントを提出することに努め、3 月に回答を得られましたが、区民にとって具体的な事業計画とはいいがたく、さらにこの計画がきちんと実行されていくのかを見ていく必要性を感じています。

特に年度途中の年明けに起こった能登半島地震の様子を見るにつけ災害時の対応についての検討が遅れていることが気になります。「個別避難計画書」の大田区からの作成委託が始まり、大田区避難行動要支援者連絡会議では、各障害当事者会も集まり庁内を横断的に連絡する会議として画期的な設置となりました。ただしこの連絡会議は報告のみで検討が十分になされないという状況が続いています。災害時の安全な避難ルートや方法が整わない、福祉避難所の整備が遅れているなど、作成経験者のアンケート回答では「計画作成の責任はどこにあるのか不安」という悲痛な声上がり、大田区に対し、何度もそのような具体的な声が上がっていることを含め現状報告を行いました。

わたしたちが声を上げにくい要介護の高齢の方々、介護を担うご家族、支援をする専門職の声を代弁しながら、大田区がより住みやすい、住み続けたい地域となるようにさらに努力をしていきたいと思えます。

### 活動の報告

#### 1 NPO 法人全体の運営について

- 総会の開催 2023 年 5 月 30 日(火)大田区立消費者生活センター大集会室にて集合型で行いました。
- 予算規模は大きくなっていますが、会計士と事務局非常勤職員の体制整備により理事・運営委員も予算執行等意識を持って当たることができるようになりました
- 毎月月初に事務局会議、中旬に運営委員会、偶数月に理事会を開催
- 連絡会主催研修（部会報告参照）
- 大田区より委託事業（部会報告参照）は WEB 開催を継続しています。技術的にも、機材的にも毎回苦労がありますが、事務局非常勤職員の働きにより、研修を提供することが出来ています。研修内容をわたしたち検討することにより、参加人数が増えています。
- 大田区との連携
  - ・ 大田区福祉部介護保険課との懇談会 7 月 7 日（金）実施
    - \* 返答書面について HP にアップしましたのでご確認ください。回答についてこちらの思いとは不足の部分が多く、関係部署とのやり取りをさらに続けています。
  - ・ 介護認定審査会委員 委員を派遣
  - ・ 大田区地域福祉計画推進会議 委員派遣 5 月 31 日・8 月 22 日・11 月 9 日・1 月 31 日
  - ・ 大田区高齢者福祉計画・介護保険事業計画推進会議 委員派遣
  - ・ 大田区難病対策地域協議会 委員派遣
  - ・ 大田区地域密着型サービス運営協議会 委員派遣

- ・ 大田区おおた介護予防応援事業検討会 委員派遣
- ・ 大田区在宅医療連携推進会議 委員派遣
- ・ 大田区介護保険サービス団体連絡会会長会に参加
- ・ 大田区避難行動要支援者連絡会議に参加
- ・ 大田区介護サービス功労者表彰（今年度から会長会推薦方式となりました）
- ・ おおた福祉フェス 2023 企画会議に参加し、運営に協力しました。地域活動部会の活動としても取り組んでいます。（部会報告参照）
- 区内外各種団体との連携
  - ・ 区南部地域リハビリテーション支援事業委員派遣
  - ・ 自由民主党大田区民連合 予算要望懇談会参加 8月3日（木）
  - ・ 日本共産党大田区議団 予算要望懇談会参加 8月3日（木）
  - ・ ふれあいはずぬま自営消防訓練参加
  - ・ 立憲民主党大田区議団 予算要望懇談会参加 8月21日（月）
  - ・ 社会福祉法人大田区社会福祉協議会との連携  
大田区地域福祉活動計画推進会議 委員派遣  
大田区社会福祉協議会評議員専任・解任委員会 委員派遣

## 2 各部会からの報告

### ○ 研修部会報告 報告・土井

令和5年度は、5月より新型コロナウイルス感染症が5類に分類されましたが、引き続き感染症対策として、多くの研修をオンラインで開催しました。

大田区研修においては、介護保険課と協議し、大田区のケアマネジャーに現状として必要のある研修として「防災」「複合課題・多機関連携」「カスタマーハラスメント」等を企画しました。日頃、ケアマネジャーが課題に感じていることの支援と、更なる質の向上に努めました。

連絡会研修においては、参集型で懇談会とタウンミーティングを開催しました。グループワークで活発な意見交換がされ、会員である皆様の熱心さにより、有意義な研修となりました。

引続き、大田区のケアマネジャーと共にある連絡会として、ニーズに応える研修を企画していきたいと思えます。

#### I. 大田区研修（大田区委託事業）

第1回 大田区介護支援専門員全体研修（オンライン開催） 令和5年7月26日	
参加者	284名
タイトル	大田区重層的支援体制整備事業について～多機関連携支援を学ぶ～
内容	令和5年度より開始となった「大田区重層的支援体制整備事業」を理解し、「重層的支援会議」の活用について学ぶ。ケアマネジャーが抱える複合課題ケースについて、多機関・多職種と連携・相談すること、関係づくりについて学ぶ。

講師	<p>【重層的支援体制整備事業 ～多機関連携支援を学ぶ～】</p> <p>十文字学園女子大学 副学長 人間生活学部教授 今井 伸 氏</p> <p>【大田区の重層的支援体制整備事業について】</p> <p>大田区福祉部福祉管理課 調整担当係長 滝本 裕弥 氏</p>
----	---

第2回 大田区介護支援専門員全体研修 (オンライン開催) 令和5年9月20日	
参加者	246名
タイトル	作成済みでも未作成でも役立つBCP策定講座
内容	2024年4月から義務化されるBCP策定について。居宅介護支援事業所のBCP策定のポイントについて学び、策定の足掛かりとする。また、既に作成済みの事業所には、改めて再確認の機会とする。
講師	シミックソリューションズ株式会社 藤内 恵子 氏

第3回 大田区介護支援専門員全体研修 (オンライン開催) 令和5年10月31日	
参加者	229名
タイトル	水害からの逃げ遅れゼロを目指して ケアマネジャーのためのマイ・タイムライン作成体験講座
内容	介護支援専門員向けのマイ・タイムライン作成研修。地震や台風などの災害に対しては、「自助の備え」「共助の備え」「公助の備え」の3つの備えが大切なこと。要配慮者・避難行動要支援者、個別避難計画、避難所等について等、介護支援専門員の水害に係る知識を得る。
講師	<p>【マイ・タイムライン作成体験講座】</p> <p>一般財団法人河川情報センター 流域情報事業部 部長 向井 正大 氏</p> <p>【大田区の個別避難計画作成の取組について】</p> <p>大田区介護保険課計画担当係長 大河原梓氏</p>

第4回 大田区介護支援専門員全体研修 (オンライン開催) 令和6年1月26日	
参加者	274名
タイトル	カスタマーハラスメント研修 ～ケアマネジャーが自分や事業所を守るために～
内容	利用者や家族等からのカスタマーハラスメントについて。ケアマネジャーのメンタルヘルスを守り、離職を防止するためにも、組織全体でカスタマーハラスメントの対応策を考えることが重要。ケアマネジャー側の対策として記録の残し方や対応する際に注意するポイント等、事例を交えながら学ぶ。
講師	津波朝日法律事務所 弁護士 津波 朝日 氏

第5回 大田区介護支援専門員全体研修 (オンライン開催) 令和6年2月22日	
参加者	225名
タイトル	ケアプラン点検総括研修

	～リ・アセスメント支援シートとケアプラン確認シートの意義～
内 容	リ・アセスメント支援シートを活用する意味（意義・意図）とケアプラン確認シートについて、改めて理解する。利用者等とコミュニケーションを図りながらアプローチする「介護支援専門員」だからこそ出来る部分、専門性の向上を図ることを目的とする。
講 師	宮崎県立看護大学 特任教授 佐藤 信人 氏

## II.連絡会研修

第1回 NPO 法人大田区介護支援専門員連絡会主催 特定事業所懇談会 令和5年7月18日	
参加者	31名 参集型で消費者センターにて開催
タイトル	特定事業所懇談会
内 容	特定事業所の介護支援専門員がグループに分かれてフリートークを行い、「合同研修」「個別避難計画」「実地指導」「地域包括との協力」等について意見交換をかわす。当日のグループ発表については、後日参加者にアンケート集計結果と共に、FAXにてフィードバックをした。

第2回 NPO 法人大田区介護支援専門員連絡会研修（オンライン研修） 令和5年11月17日	
参加者	130名
タイトル	終活～一人暮らしの利用者にもしもの事があつた時～
内 容	これから増加する「独居高齢者」に焦点を当てた研修。身寄りがない、親族と疎遠、親族も要介護等、一人暮らしの方等の担当のケアマネジャーとして、金銭管理・身元保証人について等、事前に役立つ情報を得る。
講 師	一般社団法人包括あんしん協会 代表理事 大和泰子氏

第3回 NPO 法人大田区介護支援専門員連絡会研修 タウンミーティング 令和5年12月22日	
参加者	○調布地区 25名 ○蒲田地区&糀谷羽田地区 42名 ○大森地区 28名 合計95名 参集型で池上会館にて開催
タイトル	みんなでブラッシュアップ！総合事業！！ ～みんなどうしてる？大田区総合事業の理解を深め、よりよく利用しよう～
内 容	「蒲田・糀谷羽田地区」「調布地区」「大森地区」に分かれてグループワークを行う。高齢福祉課・総合事業 YouTube 動画を視聴し、事例をもとに地域課題・社会資源等について意見交換を行い、ケアマネジメントに活かせることを目的とする。
講 師	協力：大田区高齢福祉課総合事業担当

### ○ ケアプラン点検作業部会 報告・瀧 （大田区委託事業）

東京都保健福祉局発行「保険者と介護支援専門員が共に行うケアマネジメントの質の向上ガイドライン」を基に、前年同様、当連絡会が大田区からの委託事業として実施。区内62ヶ所の居宅介護支援事業

所を対象に、従前の居宅介護サービス計画書（第1表～3表）、リ・アセスメント支援シート、及び基本情報シート、リ・アセスメント支援シート作成後に抽出されたニーズを用いて作成した居宅介護サービス計画書原案（第1表～3表）を提出していただき、前期30件、後期32件の計62件の点検作業を行いました。令和5年度も「自立支援を目的として、訪問介護、リハビリテーション、福祉用具のサービスを導入した事例」をテーマとしました。

個々の居宅介護支援事業所において、管理者や主任介護支援専門員を中心としたケアプラン点検が実施されることを目標とし、管理者等が点検する際の視点やポイント等を把握しておくことが必要となるため、前年度と同様に提出対象者を管理者または主任介護支援専門員としました。

点検したケアプランより好事例を選出しており、ファシリテーターの募集、研修を経て、令和5年度は、コロナ禍で開催できなかった『グループ討議型ケアプラン点検』を4年ぶりに開催することができました。（※令和2年度は中止、令和3、4年度は面談形式によるケアプラン点検に変更）前期・後期のケアプラン提出者が参加され、ファシリテーターの方々に活躍していただきました。

このファシリテーターは、主任介護支援専門員更新研修における主任介護支援専門員としての実践要件である「ファシリテーター実施実績」に該当するもので、更新希望の方々の要件取得機会にも大きく貢献しました。

## ○ ケアマネ相談室活動報告 報告・石田 （大田区委託事業）

---

ケアマネジャーが元気になるためのお悩み相談・ご意見・ご質問をお聞きする「ケアマネ相談室」を毎月第3木曜日の13～17時に開室しています。ふれあいはずぬま（大田区西蒲田3-19-1）内の連絡会事務所で予約制の面談方式で相談を賜っていますが、コロナ禍以降電話やメール、ZOOMなど門戸を広げて相談を承っています。日時につきましても柔軟に対応いたしますので、お気軽にお問い合わせください。本年度2年ぶりに「ひとりケアマネ相談室」も開室いたしました。コロナ禍による研修のオンライン化などで横の繋がりを得る機会が減り、特にひとりケアマネさんが孤立傾向であり情報が不足していることが改めて浮き彫りになりました。今後も定期的にひとりケアマネ相談室も企画してみたいと思いますので、開催する際には改めてご案内いたします。ケアマネ相談室以外にもひとりケアマネさん向けの支援体制の受け皿づくりを、連絡会としても検討しています。

## ○ 地域活動部会活動報告 報告・所

---

蒲田駅前図書館と共催にて、毎月第2日曜日に「蒲田駅前図書館日曜介護相談室」を開催しております。介護に心配のある高齢者やご家族を対象に、大田区に限定せずに図書館をご利用の方で介護に不安のある方にはケアマネジャーが無料で介護相談を行っております。2023年度は介護相談の「予約」を図書館に申し込まれた方もいらっしゃいました。コロナ感染予防を考慮して相談場所を図書館のある建物の2階に変更して行なっておりますが、2024年度は相談場所をさらに分かりやすく、相談者が相談しやすい場所を検討中です。会員のみなさまには、ボランティアとして介護相談に参加していただき大変助かっております。今年度も募集しておりますので、みなさまご協力の程、よろしくお願いいたします。

一年に一度、大田区の各介護事業所連絡会や介護関係者が関わる「おおた福祉フェス」に実行委員とし

て企画参加またボランティアスタッフとして参加しております。区民に向けた介護業界の紹介と啓蒙活動、また介護業界の就職について、子育て世代やお子様達、介護保険に興味があるが携わっていない方、親の介護を終えられた方、ご高齢の方など幅広く区民に分かりやすく伝える催しです。2023 年度は、コロナ等の感染情勢を見ながら、実に 2 年ぶりの対面型のリアル開催を行ないました。飲食スペースも復活し、またケアマネ連絡会では「介護相談」ブースも行われ、ケアマネジャーをはじめ会員ボランティアの方が相談に乗るスタイルで行なわれ、「ケアマネジャーをやろうかな」とご相談に来られる方もいらっしゃいました。

また、今年度は当日ボランティアの募集だけではなく「実行委員として一年間参画」するボランティアも募集しております。ぜひ私たち運営委員と一緒に実行委員として参画しませんか。

東京都介護支援専門員研究協議会（CMAT）に大田区のケアマネジャー職能団体として参加しております。認定調査や審査会の遅延、俗にいう 1 人ケアマネや少数人数居宅事業所の閉鎖についてなど大田区のみならず他保険者の取り組みや他団体の取り組みなども含めて、話し合いを行なっております。

コロナ感染の影響もありますが、地域活動部会では今後も新しい「地域活動」の形を検討し続けます。みなさまも「楽しいと感じられる」・「やりがいのある」地域活動を一緒に考えましょう。

## ○ 広報部会活動報告 報告・石田

---

広報部会は NPO 法人大田区介護支援連絡会の理念・方針を発信する役割があります。けあまね通信での活動報告や、ホームページや Facebook を活用し会員相互の資質向上を図れるように、大田区の介護支援専門員の後方支援を行っています。連絡会公式 LINE アカウントには既に 250 名以上の方にご登録いただいております。皆さまの業務に役立つ情報や研修のリマインダー機能として活用しています。まだ未登録の方はぜひ友だち登録をお願いします。

広報部会では会員の皆様からのご意見を募集しています。より良い活動や皆様の後方支援に役立てたいと思いますので、広報部会に是非ご意見をお寄せください。

今後も当部会では連絡会の在り方、考え方を発信していきたいと思っております。

## ○ 災害対策部会報告 報告・北原

---

令和 5 年度の災害部会の活動としては、大田区より対象者を担当するケアマネジャーへ作成依頼があった「大田区個別避難計画書」について、ケアマネジャーがどのように捉え、感じているのかケアマネジャーへアンケートを実施、

109 名から回答得て集計したものを介護保険課避難行動要支援者対策会議へ提出した。

「作成に苦慮している」「負担を感じている」という意見が多く聞かれたことから今後のアナウンスや協力依頼について検討いただけるよう働きかけた。